

山岳トイレ技術分野の 進捗状況及び今後の予定について

1. 平成 1 8 年度の進捗状況

(1) ワーキンググループ (W G) 開催状況等

- ・ 3 月 2 2 日 平成 1 8 年度第 5 回 W G 開催
(平成 1 8 年度 実証試験報告書の検討等)

(W G 検討員名簿は資料 1 - 4 - 2 参照)

(2) 実証機関における実証試験の進捗状況等

実証機関：特定非営利活動法人グラウンドワーク三島 1 技術

実証技術：東陽綱業 (株) 生物処理方式

実証試験地：静岡県富士宮市の白糸の滝

実証機関：特定非営利活動法人山の E C H O 2 技術

-1 実証技術：ニッコー (株) 生物処理方式

実証試験地：埼玉県秩父郡長瀬町の宝登山ロープウェイ山麓駅

-2 実証技術：永和国土環境 (株) 生物処理方式

実証試験地：長野県軽井沢町見晴台

-2 については実証試験を終了したが、及び -1 の 2 技術の実証については、予定負荷 (トイレ利用者数) を満たすことが出来なかったため、1 9 年度においても実証試験を継続する予定。

2. 今後の予定

- ・ 実証試験要領 (第 4 版) の作成 (平成 1 8 年度内)
山岳に加えて、山麓、海岸・離島などに設置するし尿処理技術についても試行的に技術を募集して、試験を行うこととする。(ニーズ等を把握し、山岳トイレ技術分野の今後の展開を検討する。)
- ・ 実証機関の募集 (平成 1 8 年度内)
- ・ 実証技術の募集 (平成 1 9 年 4 月)

3. その他

平成 1 8 年度環境技術実証モデル事業検討会
山岳トイレし尿処理技術ワーキンググループ 検討員名簿

柏原 一正 (有)鹿島槍観光開発(冷池山荘、種池山荘、新越乗越山荘)
桜井 敏郎 (社)神奈川県生活水保全会理事
鈴木 富雄 長野県環境保全研究所主任研究員
船水 尚行 北海道大学大学院工学研究科教授
森 武昭 神奈川工科大学電気電子工学科教授 <座長>
吉田 孝男 NPO環境資源保全研究会代表
渡辺 孝雄 (財)日本環境整備教育センター調査研究部主幹

(50音順、敬称略)

山岳トイレ技術分野からの提案

資料 1 - 4 - 3

- ・ ロゴマークにおける信頼度の向上について
- ・ 実証機関に政令指定都市以外の市が担うことについて
- ・ 実証運営機関による実証技術の通年募集について